

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 語り部スキル | つながりづくりのガイダンス (3)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

つながりづくりのガイダンス (3)

「つながり」とは、言葉以上の言葉で語ること

理解のカギ：言葉以上の言葉で語る努力をすれば、「つながり」を生む力も高まる

1対1の場合

1対1で話すとき、人はコミュニケーションの非言語的な側面の重要性を見逃しやすい。

言葉以上の言葉で語るための労を割こうとしない。

改善したいなら、次の点を実践していただきたい。

- ・相手に100%の関心を示し、視覚的な「つながり」を築く。目は心の窓だ。相手の心を見つめ、自分の心を見せること
- ・問いかけをして、しっかりと耳を傾け、口に出されていないことにも注意を払って、理解を通じた「つながり」を築く
- ・身体的な触れ合いを通して、気持ちを伝えて「つながり」を築く（相手に触れるときはTPOをわきまえること。異性には特に節度を保つこと）

集団の中にいる場合

集団の中でのコミュニケーションは、リーダーとしての考えや表現をブラッシュアップする機会になる。

教えたい内容を実践し、相手にやってもらい、それを見てアドバイスをして、相互にやりとりを広げていくことができる。

次の点を実践しよう。

- ・例を示して、視覚的な「つながり」を築く。目の前でやって見せれば、聞き手も実践しやすくなる
- ・相手の理解と成長を助けるコミュニケーションで「つながり」を築く
- ・集団の努力を称え、成果に報いることで、気持ちに根ざした「つながり」を築く

講演をする場合

聴衆に向かって話すシチュエーションで、言葉を超越る言葉で語るのは非常に難しい。

壇上では言葉以外に頼れるものが少ないからだ。

しかし、そんな状況でも活用できる非言語的コミュニケーションがある。

講演をする際は、最初のほうで、次に挙げる3点を実践しよう。

- ・笑顔を見せて視覚的な「つながり」を築く。皆さんの前に立てて嬉しい、と伝える。
- ・言ったことをかみしめてもらえるよう、沈黙を効果的に挟むことで、理解を通じた「つながり」を築く
- ・笑顔や涙など、ゆたかな表情を示し、気持ちに根ざした「つながり」を築く
- ・聴衆の全員を「100点満点の存在」と見て、きっと素晴らしい反応をしてくれると信じる
- ・話し終わったら、「講演ができて楽しかった」と伝える

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.